

### 第9期いばらき高齢者プラン21数値目標(案)一覧

新規・継続等の別 (第8期との比較)	第9期プランにおける施策の位置付け	番号	目標項目名	現状値 令和4(2022) 年度末	目標値 令和8(2026) 年度末	目標値設定の考え方	備考	担当課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	1	特定看護師数	252人	482人	令和7年度までに合計422名を目標 ・三次救急病院(7施設)に6名ずつ配置:42名 ・特例水準申請予定医療機関の総看護師数の10%:380名 その後は60名/年ずつ養成増		医療人材課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	2	退院支援を実施している診療所・病院数(人口10万人あたり)	2.1箇所	3.6箇所	全国平均値を目標		健康推進課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	3	訪問診療を実施している診療所・病院数(人口10万人あたり)	12.6箇所	13.6箇所	現状値(R4)に在宅患者の今後の伸び率を乗じて、目標値を設定	人口10万人あたりに項目修正	健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	4	訪問看護事業所数(人口10万人あたり)	8.1箇所	8.7箇所	現状値(R4)に在宅患者の今後の伸び率を乗じて、目標値を設定		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	5	在宅療養支援歯科診療所数(人口10万人あたり)	4.2箇所	4.5箇所	現状値(R4)に在宅患者の今後の伸び率を乗じて、目標値を設定		健康推進課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	6	訪問薬剤管理指導を実施している薬局数(人口10万人あたり)	20.8箇所	22.5箇所	令和11年度までに全体の半数の薬局(683薬局、24.1箇所)の参画を目標	「在宅訪問実施薬局数(人口10万人あたり)」を、より正確な名称に修正	業務課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	7	在宅療養支援診療所(機能強化型)、在宅療養支援病院(機能強化型)及び在宅療養後方支援病院の数(人口10万人あたり)	2.04箇所	2.20箇所	現状値(R4)に在宅患者の今後の伸び率を乗じて、目標値を設定	在宅診療・在宅支病・在宅病を合わせたの目標に項目修正	健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	8	看取り数(死亡診断のみの場合を含む・人口10万人あたり)	142.2人	189.1人	全国平均値を目標		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	9	看護小規模多機能型居宅介護事業所数	15箇所	23箇所	サービスの見込量等を踏まえ、地域密着型サービスの指定権者である市町村との協議により設定 ※概算値		長寿福祉課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	10	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数	14箇所	17箇所	サービスの見込量等を踏まえ、地域密着型サービスの指定権者である市町村との協議により設定 ※概算値		長寿福祉課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	11	特別養護老人ホームの整備床数	16,309床	16,939床	入所待機者等の状況を踏まえ、市町村との協議により、市町村介護保険事業計画と整合性のある目標値を設定。		長寿福祉課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	12	介護老人保健施設の整備床数	11,698床	11,688床	入所待機者等の状況を踏まえ、市町村との協議により、市町村介護保険事業計画と整合性のある目標値を設定 ※概算値		長寿福祉課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	13	介護医療院の整備床数 ※( )は転換分(内数)	378床	649床	入所待機者等の状況を踏まえ、市町村との協議により、市町村介護保険事業計画と整合性のある目標値を設定 ※概算値	転換は令和5年度で終了であり、転換内数分は不要となるため項目修正	長寿福祉課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	14	養護老人ホームの必要床数	920床	860床	今後の整備は、入居者の安全性の確保、良好な生活環境の確保を図るため、計画的に改築することで対応 ※概算値		長寿福祉課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	15	軽費老人ホームの必要床数	1,684床	1,684床	今後の整備は、これまでのA型(経過的軽費老人ホーム)の改築時に軽費老人ホームへの転換を進めていくことで対応 ※概算値		長寿福祉課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	16	経過的軽費老人ホームの必要床数	100床	100床	今後の整備は、これまでのA型(経過的軽費老人ホーム)の改築時に軽費老人ホームへの転換を進めていくことで対応 ※概算値		長寿福祉課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	17	介護職員数(需給推計)	(供給)43,692人(R3)	(需要)49,020人(R7)	介護保険事業計画で見込まれている介護サービスの提供に必要な介護職員数		健康推進課 福祉政策課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	18	地域包括支援センター数	160箇所	170箇所	第1号被保険者(R5:85万人)5,000人に1ヶ所		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	19	地域ケア会議等における管理栄養士・栄養士の活用市町村数	18市町村	44市町村	全市町村において管理栄養士及び栄養士が参加することで、より介護予防の視点を重視した地域包括ケアシステムの推進を目指す		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	20	地域ケア会議等におけるリハビリテーション専門職の活用市町村数	34市町村	44市町村	全市町村においてリハビリテーション専門職が参加することで、より介護予防の視点を重視した地域包括ケアシステムの推進を目指す		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	21	協議体(第2層・生活圏域)の議論により開始した支え合い活動数	93件	137件	3年間で全市町村が現状から1件以上の支え合い活動を増やすことを目標		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	22	早期発見・見守りネットワーク構築市町村の割合	68.0%	77.0%	全国平均値を基に目標設定		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	23	保健医療福祉サービス介入支援ネットワーク構築市町村の割合	43.0%	52.0%	全国平均値を基に目標設定		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	24	関係専門機関介入支援ネットワーク構築市町村の割合	39.0%	52.0%	全国平均値を基に目標設定		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	25	元気シニアバンクの登録件数(活動者数)	286人	340人	過去の推移を踏まえた次期計画期間中の登録件数の見込みを算出し、これを上回る目標数を設定		長寿福祉課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	26	シルバーリハビリ体操指導士養成数(累計)	10,039人	11,700人	地域における活動の継続に必要な実指導士数が維持できることを考慮し、現在の実指導士数を維持していくために必要な指導士の養成を目標		長寿福祉課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	27	令和8(2026)年の第1号被保険者認定者に占める要介護度4以上の割合	21.6%(R5.7)	21.3%	第1号被保険者の認定者で要介護4以上が占める割合が0.1%/年下がることを目標	要介護4以上について、「認定者数」から「割合」へ項目修正	健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	28	ヘルスロードの指定距離	1,225.5km	1,310.0km	第4次健康いばらき21プランの目標(R17)から年間の伸びを考慮し算出		健康推進課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	29	健康寿命の延伸	男性:72.71年 女性:75.80年(R1)	男性:74.24年 女性:77.33年	第4次健康いばらき21プランの目標(R17)から年間の伸びを考慮し算出		健康推進課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	30	1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上継続している者の割合(65歳以上)	男性:49.4% 女性:64.3%	男性:53.0% 女性:66.0%	第4次健康いばらき21プランの目標(R17)から年間の伸びを考慮し算出		健康推進課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	31	食生活改善推進員の年間あたりの新規養成数	124人/年	250人/年	組織の維持と活性化に必要な養成数を算定し設定	次期健康いばらき21プランに合わせて項目修正	健康推進課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	32	64歳で24本以上、自分の歯を持つ者の割合(60~69歳)	61.0%	62.7%	第4次健康いばらき21プランの目標(R17)から年間の伸びを考慮し算出		健康推進課
項目修正	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	33	80歳で20本以上、自分の歯を持つ者の割合(75~84歳)	48.0%	49.7%	第4次健康いばらき21プランの目標(R17)から年間の伸びを考慮し算出		健康推進課

新規・継続等の別 (第8期との比較)	第9期プランにおける施策の位置付け	番号	目標項目名	現状値 令和4(2022) 年度末	目標値 令和8(2026) 年度末	目標値設定の考え方	備考	担当課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	34	重点整備地区の県及び市町村管理歩道のバリアフリー化率	61.4%	68.2%	R1～R4まで実績の平均値		道路維持課
継続	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり	35	高齢者の居住する住宅の一定のバリアフリー化率(令和7年度まで)	39.2%(H30)	75.0%(R7)	H28～R7の10年間の茨城県住生活基本計画と同様の目標		住宅課
削除	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり		医師数				現県総合計画及び医師確保計画においては、「医師数」を目標値に設定していないため	医療人材課
削除	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり		自分は健康だと思っている人の割合				健康いばらき21プランで数値目標としない。また、調査も実施しないため	健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	36	認知症サポーター養成人数(累計)	318,013人	398,000人	例年の養成者数及び養成講座の実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	37	認知症サポート医養成人数(累計)	196人	280人	例年の養成者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	38	かかりつけ医認知症対応力向上研修受講者数(累計)	979人	1,240人	例年の修了者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	39	歯科医師認知症対応力向上研修受講者数(累計)	615人	1,050人	例年の修了者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	40	薬剤師認知症対応力向上研修受講者数(累計)	1,221人	2,020人	例年の修了者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	41	認知症疾患医療センター数	13箇所	13箇所	二次医療圏に1カ所以上 人口の多い二次医療圏では概ね65歳以上人口6万人に1カ所を確保		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	42	看護職員認知症対応力向上研修受講者数(累計)	1,004人	1,700人	例年の修了者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	43	一般病院勤務の医療従事者認知症対応力向上研修受講者数(累計)	4,134人	6,200人	例年の修了者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
新規	(2)認知症対策の強化	44	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修受講者数(累計)	98人	460人	例年の修了者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	45	認知症介護実践者研修受講者数	6,127人	6,700人	例年の修了者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	46	認知症介護実践リーダー研修受講者数	835人	920人	例年の修了者数及び研修実施機関の開催可能回数・規模等により算出		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	47	認知症介護指導者養成研修受講者数	39人	46人	例年の養成者数1名に加え1名		健康推進課
継続	(2)認知症対策の強化	48	本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組みを整備する市町村数	6市町村	44市町村	国認知症施策推進大綱KPI(2025年までに全市町村に設置)を参考に設定		健康推進課
新規	(3)がん対策	49	がん検診受診率(胃がん)(40～69歳)	46.8%	60.0%(R10)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	50	がん検診受診率(肺がん)(40～69歳)	50.3%	60.0%(R10)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	51	がん検診受診率(大腸がん)(40～69歳)	45.1%	60.0%(R10)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	52	がん検診受診率(乳がん)(40～69歳)	46.6%	60.0%(R10)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	53	がん検診受診率(子宮頸がん)(20～69歳)	42.4%	60.0%(R10)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	54	精密検査受診率(胃がん)(40歳以上)	84.3%(R3)	90.0%(R9)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	55	精密検査受診率(肺がん)(40歳以上)	85.7%(R3)	90.0%(R9)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	56	精密検査受診率(大腸がん)(40歳以上)	72.9%(R3)	90.0%(R9)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	57	精密検査受診率(乳がん)(40歳以上)	88.9%(R3)	90.0%(R9)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	58	精密検査受診率(子宮頸がん)(20歳以上)	86.7%(R3)	90.0%(R9)	国の基本計画及び県総合がん対策推進計画で定める目標値		健康推進課
新規	(3)がん対策	59	がん病態栄養専門管理栄養士を配置しているがん診療連携拠点病院の数	5病院(9人)	各拠点病院に1人以上(R10)	各拠点病院に1名以上配置		健康推進課
新規	(3)がん対策	60	国立がん研究センターが実施する「相談支援センター相談員指導員研修会」を受講した相談員を配置しているがん相談支援センターの数(がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、茨城県がん診療指定病院)	13病院	17病院(R10)	すべてのがん診療連携拠点病院等において配置		健康推進課
新規	(3)がん対策	61	患者サロンを設置しているがん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、茨城県がん診療指定病院の数	14病院	17病院(R10)	すべてのがん診療連携拠点病院等において設置		健康推進課